



魯桃桜

編集・発行 長野市立長野図書館
〒380-0843 長野市長門町 1097-3
電話 026-232-3558
<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>



天の川

年に一度天の川をわたって彦星織姫が再会するという七夕伝説。でも7月7日は梅雨の季節で、天の川が見えないこともしばしば。一方今の暦で8月頃にあたる旧暦の七夕時期には、きれいに見えることも多くなります。

世界各地で道や川になぞらえ、「ミルキーウェイ」「銀河」などと呼ばれならわされ、親しまれてきた天の川。夜空にかかる白っぽい雲の帯のように見えますが、実際には銀河系を構成するたくさんの星のあつまりです。銀河系は円盤の形をしていて、私たちの地球がある太陽系もその一員。この円盤状の銀河系を内側から見ているのが天の川で、天を横切る帯のように見えるのです。

天の川をたどっていくと、いて座のあたりで広く明るくなっています。この方向に銀河の中心があるのです。双眼鏡でのぞけば、無数の星々、星雲や星団による華やかな世界がひろがります。ちなみに、銀河系の中心には巨大ブラックホールがあることが分かっています、なんとその姿の撮影にも成功しているそうです。

8月には夜8時頃、いて座が南の空の見やすい位置に上がってきます。銀河の中心に思いを馳せつつ、天の川を楽しんでみてはいかがでしょうか。ただし天の川は街明かりや月明かりの影響で見えにくくなります。条件の良い場所で見てくださいね。

参考文献

『星空の楽しみかた』

KAGAYA／著 河出書房新社 《442カ》

『誰でも楽しめる星の歳時記』

浅田 英夫／著 地人書館 《440ア》

『文系のための東大の先生が教える銀河宇宙』

田村 元秀／監修 ニュートンプレス 《443フ》

新着 CD 紹介

Brand New Rainbow	《763ナ》
タンゴが聴こえるカフェテラス	《764タ》
タニヤマヒロコピアノアルバム	《767タ》
立川吉笑落語傑作選	《779タ》
語りを楽しむ 松岡享子のお話	《913マ》

見たり聞いたり



『心と身体をゆるめる音楽』

小鳥のさえずりや、水の音など、リラックスしやすい自然音を取り入れた CD です。音を聞きながら、呼吸を整えていくことで、緊張していた心と身体をゆるませ落ち着いた気持ちへと誘います。

開館 40 周年記念「ナイトライブラリー」第一夜～閉館後の図書館で映画を上映します～

8月31日(日) 会場:3階視聴覚室 時間:午後6時15分から7時35分

タイトル:「オペラ座の怪人」字幕・白黒・76分(サイレント映画)<1925年 アメリカ作品>

図書館カレンダー

■ …休館日

開館時間 平日 9:45～19:00

土日祝 9:45～18:00

8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				



新刊案内



『戦下の読書』 和田 敦彦／著 講談社《019ワ》

戦時下、人々は何を読み、何を考え、何になっていったのか。子供・勤労青年・女性・兵士、農村・都市…。各階層・各地域の読書と生のリアルを、戦前・戦中になされた「読書調査」から掘り起こす。

『介護・老後で困る前に読む本』 吉田 肇／著 NHK 出版《367ヨ》

介護・老後の悩みや不安は“百人百通り”。実例や親子のコミュニケーションの方法を交えて最適解の導き方を紹介する。リスクや課題の把握に役立つ判定スケール、判定スケールの診断サイトの QR コード(図書館利用可)付き。

『山と獣』 須藤 功／著 農山漁村文化協会《382ス》

宮本常一が所長だった日本観光文化研究所に所属し、全国の村で「あるくみるきく」ことを続けてきた民俗学写真家が、鳥獣害に悩みながらも焼畑で生計を立て、祭りに願いを託した人びとの「ふつうの暮らし」を写真とともに綴る。

『模型でわかる建築構造のしくみ』 WHAT MUSEUM 建築倉庫／著 誠文堂新光社《524モ》

貴重な建築模型を保管・展示する WHAT MUSEUM 建築倉庫のオフィシャルブック。企画・開催した 3 つの展覧会の内容を軸に、日本を代表する名建築 32 点の豊富なビジュアル資料、拡大写真やイラスト解説を収録する。

『1945 年に生まれて』 池澤 夏樹／著 岩波書店《910.26イ》

父・福永武彦との関係、デビュー以前の下積みの日々、地球の未来について…。昭和 20 年 7 月 7 日に生まれ、戦後とともに歩み、考えてきた作家・池澤夏樹が、いま初めて人生と創作のすべてを明かす。

『青の純度』 篠田 節子／著 集英社《Fシ》

バブル時代に大衆の心を掴み、美術界からは相手にされなかった画家・ヴァレーズの原画展が行われるという。違和感を抱いた美術系編集者・有沢真由子は画家本人に取材するため単身ハワイへ…。『小説すばる』連載を単行本化。



今月のテーマ

「野球」

8 月 9 日は、や(8)きゅう(9)の語呂合わせから「野球の日」です。野球は国内外を問わず人気のスポーツで、日本のプロ野球界だけでなく、メジャーリーグでも大谷翔平選手など多くの日本人選手が活躍し、盛り上がっています。

また、8 月は阪神甲子園球場で全国高等学校野球選手権大会が開催され、選手・観客・応援団など、多くの人々が熱狂します。



【8月映画上映予定 午後2時から3階視聴覚室】



8月9日(土)

タイトル:『結婚哲学』字幕・白黒・86 分 (サイレント映画) 監督:エルンスト・ルビッチ CAST:アドルフ・マン
ジュー／マリー・プレボー／フロレンス・ビドア／モンテ・ブルー <1924年 アメリカ作品>

8月23日(土)

タイトル:『勝利の朝』字幕・白黒・74 分
監督:ローウェル・シャーマン
CAST: キャサリン・ヘップバーン／ダグラス・フェアバ
ンクス・Jr／アドルフ・マンジュー
<1933年 アメリカ作品>

7月発表の主な文学賞受賞作品

第23回 開高健ノンフィクション賞

『シリアの家族』

小松由佳 (未出版)

